

令和4年第1回市議会定例会一般質問一覧表

1 日 時 令和4年3月4日(金) 午前9時30分
令和4年3月8日(火) 午前9時30分

2 質問者 (質問順)

- | | | |
|---------------|-----|------------------------|
| (1) 新緑水クラブ | 60分 | (1 早川康司、2 栗野文子、3 富田博巳) |
| (2) 市友会 | 20分 | (4 工藤政明) |
| (3) 公明党 | 20分 | (5 井上純一) |
| (4) 日本共産党議員団 | 20分 | (6 近藤美保子) |
| (5) 子どもたちに青い空 | 20分 | (7 村瀬進治) |
| (6) 東海市民の声 | 20分 | (8 間瀬友浩) |

3 質問事項、要旨及び項目

| 質 問 者 | 1 早川康司議員（新緑水クラブ） | | |
|--------------------|--|--|-----|
| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 質 問 項 目 | 備 考 |
| 1 文化・スポーツ振興の推進について | 1 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革において、これまでの部活動の在り方の見直しが進められている。一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、外出自粛による運動不足や人と人との接点の希薄化が進む中、スポーツは市民の心身の健康づくりや充足感の醸成、人と人との交流の促進、地域の一体感や活力の醸成に寄与する重要な活動であるということが再認識されている。そこで、個人として楽しさや喜びを得られるだけでなく、地域の課題解決に資する役割も期待される文化・スポーツ振興の推進策について問う | <ul style="list-style-type: none"> (1) 小学校課外活動の現状と令和4年度からの課外活動廃止に至った経緯、また廃止後の方向性はどのようなものであるか (2) 中学校での部活動の状況と課題、また今後の部活動の方向性はどのようなものであるか (3) 市内の公共体育施設の利用状況はどのようなものであるか。また、ニーズを踏まえた今後のスポーツ環境づくりはどのようなか (4) 更なるスポーツの振興を図るため、今後の本市でのハーフマラソンをはじめとするスポーツ事業等で、地域や企業等との連携・協働を促す取組も実施してみてはどうか | |

| | | | |
|------------------------------|---|--|--|
| <p>2 地域経済活性化策と今後の取組について</p> | <p>1 地域経済において、未だにコロナ禍の影響がある中、これからの「ウィズコロナ」「アフターコロナ」を見据え、資金的な支援のみならず、デジタルトランスフォーメーションをはじめとする新たな経済・社会の変化を見据えた地域経済支援、また、感染症のリスクのみならず、自然災害等の非常時に強い社会構造を構築する取組も求められている。そこで、本市の地域経済活性化策と今後の取組について問う</p> | <p>(1) 市内飲食店応援食事券発行事業の成果はどのようなであったか (2) 小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業の成果と課題、また今後の展開はどのようなであるか (3) 市内事業者等の支援策としてプレミアム商品券の電子化を図る考えはあるか</p> | |
| <p>3 今後の緑陽公園整備に向けた取組について</p> | <p>1 緑陽公園整備事業は、平成26年度から事業に着手し、現在は第2期区域12.8ヘクタールの整備が進められている。そんな中、令和3年11月20日に緑陽公園整備事業の進捗状況等の説明会が開催され、令和3年度までを予定していた第2期事業認可期間を5年延伸する旨の説明がされた。そこで、地権者並びに緑陽公園とその周辺地域に与える影響と今後の整備の見通しについて問う</p> | <p>(1) 地権者及び近隣住民を対象に開催された令和3年11月20日の「緑陽公園整備事業の進捗状況等の説明会」では、どのような質問があったのか (2) 太佐山高射砲陣地跡の調査等によって、工事の進捗に遅れが生じたため、令和3年度までを予定していた第2期事業認可を変更し、5年延伸することだが、今後、太佐山高射砲陣地跡の保存・活用をどのように考えているのか (3) 平成23年度に検討委員会にて緑陽公園基本構想が検討、提案されているが、基本コンセプトに基づく整備計画は、今後、どのように進めていくのか (4) 第2期の事業認可期間を5年延伸することによって、売却を希望する第3期以降区域の地権者への対応策とその影響は、どのように考えているのか</p> | |

| | | | |
|------------------------------|--|--|--|
| <p>4 準用河川土留木川流域の浸水対策について</p> | <p>1 伊勢湾台風で甚大な被害を受け、東海豪雨でも被害が広範囲に及んだ二級河川天白川と準用河川土留木川の流域では、近年の排水計画規模を大きく上回るゲリラ豪雨の多発、都市化の進展による雨水流出量の増大によって、浸水被害の発生が危惧されている。そこで、準用河川土留木川流域の現況、今後の河川改修整備の見通し及び課題について問う</p> | <p>(1) 準用河川土留木川流域の計画高水流量、流下能力、高潮に対する現状と課題はどのようなか (2) 令和元年度に実施された土留木川河口部改修検討事業における河口部の埋立て、または、堤防耐震補強整備についての検討状況はどのようなか (3) 雨水が土留木川に直接的に流出しないようにするための雨水貯留施設としての新池の活用と整備の見通しはどのようなか (4) 名和前排水区の豪雨に対する雨水排除設備の整備状況、今後の整備予定と課題はどのようなか</p> | |
|------------------------------|--|--|--|

| 質 問 者 | 2 粟野文子議員（新緑水クラブ） | | |
|------------------------|--|--|-----|
| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 質 問 項 目 | 備 考 |
| 1 コロナ感染者支援の現状と課題について | 1 新型コロナウイルス感染症の市内在住の感染者については、一日の感染者数、感染者延人数が本市のホームページで掲載されている。令和4年1月下旬からは一日当たり50人前後から、時には200人を超える日もある等、感染が急拡大する中、本市における感染者支援策を伺う | (1) 緊急時生活支援チーム「COVID19」について現在の活動内容と令和3年度の支援実施世帯数はどのようなか。また、支援を受けたい場合の手順及び支援期間はどのようなか (2) 感染者の増加により入院や宿泊施設での療養ができず自宅療養者が急増している。このような状況下においては自宅療養している感染者はもとより、その同居家族への支援等、様々な対応が求められると考えるが、保健所との連携状況はどのようなか | |
| 2 都市計画道路名古屋半田線等の整備について | 1 都市計画道路名古屋半田線は、東海市、東浦町、阿久比町、半田市にまたがる知多半島の南北軸を形成する幹線道路である。現有の主要地方道名古屋半田線のバイパス機能として、知多北部地域における交通の円滑化と周辺の渋滞を緩和すると期待されている。都市計画道路名古屋半田線（南加木屋工区）の供用開始時期と今後の南加木屋駅周辺の整備の見通しについて伺う | (1) 都市計画道路名古屋半田線（南加木屋工区）の供用開始時期及び市民から嘆願のあった明佳幼稚園北西部の交差点への信号機設置についてはどのように把握しているか (2) 南加木屋駅東側に位置する信号交差点となる地点の東西において、道路高低差解消等の工事を活発に行っているが、都市計画道路名古屋半田線供用開始後における南加木屋駅周辺の整備の見通しはどのようなか | |

| | | | |
|-------------------------------|--|--|--|
| <p>3 帯状疱疹の予防接種について</p> | <p>1 高齢者に発症しやすいといわれている帯状疱疹は、日本では80歳までに3人に1人が罹るといふ。治った後も50歳以上の約2割の方に長い間痛みが残る帯状疱疹後神経痛（PHN）になる可能性があるともいわれている。予防接種の必要性に係る認識及び公的補助について伺う</p> | <p>(1) 帯状疱疹は、高齢化による免疫力の低下等により発症し、重症化する場合もあると言われているが、発症予防効果のある帯状疱疹の予防接種の必要性をどのように考えているか (2) 帯状疱疹の予防接種は2回の接種が必要とされるものもあり、かなり高額のようなのである。予防接種費用の補助を先行実施している自治体がある中、本市も予防接種の公的補助を検討すべきと考えるがどうか</p> | |
| <p>4 水道施設の耐震化推進の現状と課題について</p> | <p>1 水道施設は市民生活や経済活動に不可欠の重要なライフラインとなっている。全国の水道普及率は約98%と高い中、地震等の自然災害、水質事故等の非常事態においても安定した給水の確保が求められる。全国の水道施設における耐震化の進捗状況を見ると、令和元年度末時点で耐震化できた基幹管路の水道管は約40.9%、配水池の耐震化率は約58.6%であるという。本市の現状について伺う</p> | <p>(1) 本市における基幹管路の耐震化の状況について現在値及び直近5年間の推移はどのようなか (2) 市内の配水施設は何か所あり、また、現在の耐震化状況はどのようなか (3) 石綿セメント管の残存状況はどのようなか (4) 水道施設耐震化等の計画については、どのような方法で市民へ周知公開されているのか</p> | |

| 質 問 者 | 3 富田博巳議員（新緑水クラブ） | | |
|------------------|--|--|-----|
| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 質 問 項 目 | 備 考 |
| 1 生活環境対策について | 1 市内南部地区の降下ばいじんの状況及び日本製鉄(株)名古屋製鉄所による脱炭素社会実現に向けた取組等について問う | (1) 文化センター、養父児童館・養父健康交流の家及び養父町公民館における直近の降下ばいじん量はどのようなものであるか (2) 日本製鉄(株)名古屋製鉄所では、第3高炉の改修や熱延ラインのリプレース等大規模な設備改修等が直近で予定されているが、改修等による市街地への降下ばいじんや温室効果ガス排出量への影響を市としてどのように把握しているか (3) 日本製鉄(株)名古屋製鉄所では、製鉄過程において副産物が発生すると聞けるが、副産物の内容及び利用方法を市としてどのように把握しているか (4) 日本製鉄(株)名古屋製鉄所における脱炭素社会実現に向けた取組として、水素還元製鉄の実証実験が始まっていると聞けるが、市としてどのように把握しているか | |
| 2 市職員の職務中の服装について | 1 市職員の職務中の服装の基準及び事務職員への制服制度の再導入等について問う | (1) 市職員の服装の基準はどのようなものであるか。また、事務職員の服装に個人差があると思われるが、基準の周知や指導の方法はどのようなものであるか (2) 制服を導入している部署があるが、導入基準はどのようなものであるか (3) 事務職員への制服制度の再導入等の見直しを行う予定はあるか | |
| 3 安全・良質な水の供給について | 1 平成30年度に策定された東海市水道事業ビジョンに、水質管理の強化として、余剰エネルギーの活用が可能な区域における3階建て建物の直結給水導入の検討が明記されていることを踏まえ、導入に向けた検討状況等について問う | (1) 直結給水導入に向けた検討状況はどのようなものであるか (2) これまで導入をしなかった理由及び導入によるメリットはどのようなものであるか (3) 3階建ての建物に導入する場合の条件等はどのようなものであるか | |

| 質 問 者 | 4 工 藤 政 明 議 員 (市友会) | | |
|-----------------|---|--|-----|
| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 質 問 項 目 | 備 考 |
| 1 感染症への対応について | 1 秋から冬にかけて流行する季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が医療機関の逼迫を招くと懸念されていたが、インフルエンザは2年連続して心配していたほどの流行は発生していないと思われる。インフルエンザの流行や感染予防策について、本市の状況と今後の考えを問う | (1) 今季及び昨季の定点医療機関1か所あたりのインフルエンザ感染者数はどのような状況なのか。また、その数字から読み取れる流行の状況をどのように考えているのか (2) 今季のインフルエンザ以外の感染症の流行の状況をどのように把握しているのか (3) インフルエンザが流行していない理由をどのように考えているのか。また、今後もインフルエンザの流行を継続して防ぐことについて、どのような感染予防策を考えているのか | |
| 2 降雪や積雪への対応について | 1 比較的温暖な気候を特徴としている本市においても、冬季には降雪や積雪があり、交通への影響が予想されることから、市内道路の融雪策について、本市の取組状況を問う | (1) 融雪剤を設置している場所や散布する判断及び体制はどのように定められているのか (2) 交通障害が発生している場所への融雪剤の散布や市民要望等への応急体制はどのように整えられているのか | |
| | 2 令和3年12月27日に本市に発表された大雪警報について、本市の状況と保育園や小中学校の対応及び考えを問う | (1) 市立保育園の保育を中止した理由は何か。また、保護者へ保育の中止を知らせる連絡はどのように行われたのか (2) 今後も大雪警報が発表された場合は、市立保育園の保育を中止するのか (3) 仮に当日が小中学校の登校日とした場合、どのような対応が考えられるのか。また、大雪警報発表時の登下校の注意喚起はどのような方法と内容で行われるのか | |

| | | | |
|-----------------------|--|--|--|
| <p>3 倉庫火災について</p> | <p>1 令和3年11月に新宝町で発生した倉庫火災をはじめ、同じ11月に大阪市此花区で発生した倉庫火災では鎮火までに約6日間、平成29年2月に埼玉県三芳町で発生した倉庫火災では鎮火までに約12日間を要する等、倉庫火災は消火活動が難航することが浮き彫りとなった。これらの倉庫火災を受け、本市の倉庫事業者への火災予防の取組を問う</p> | <p>(1) 倉庫火災で消火活動が難航する理由をどのように把握しているのか (2) 市内の倉庫事業者への火災予防活動は、どのような取組が行われているのか</p> | |
| <p>4 クラインガルテンについて</p> | <p>1 野菜や草花の栽培を通じて農業への理解を深めて頂くとともに、娯楽や休養等の余暇活動の場を提供しているクラインガルテンの一般貸出農園について、利用状況と本市の考えを問う</p> | <p>(1) クラインガルテンを活用した農業への理解を深める啓発活動は、どのような取組が行われているのか (2) 平成30年度以降の利用者数の推移は、どのような状況なのか (3) 利用応募の抽選時期が変更になったと聞くが、変更した内容及び理由はどのようなか (4) 一般貸出農園の区画や利用期間等、利用者等の要望に即した今後の在り方について、どのように考えているのか</p> | |

| 質 問 者 | 5 井 上 純 一 議 員 (公明党) | | |
|---------------------|---|---|-----|
| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 質 問 項 目 | 備 考 |
| 1 子育て家庭への支援について | 1 少子化対策を推進する上での課題のひとつが、共働き世帯が増える等、ライフスタイルが大きく変わったにもかかわらず、家事育児負担が女性に偏ったままのいわゆる「ワンオペ育児」である。本市においても、妊娠期からの切れ目のない子育て支援を実施しているが、0歳から2歳児のいる子育て家庭への育児支援をさらに強化すべきと考え、本市の取組について問う | (1) 養育支援訪問事業の事業内容及び過去3年間の実績はどのようなものであるか (2) 訪問型子育て支援事業の事業内容及び過去3年間の実績はどのようなものであるか (3) 訪問以外にも家庭内における子育て支援を強化すべきと考えるが、現在の子育て支援の課題はなにか。また、今後の取組はどのようなか | |
| 2 スクールソーシャルワーカーについて | 1 不登校の児童生徒数は年々増加しており、2020年度は過去最多であった。その背景には、家庭環境や対人関係、心の問題等、複合的な要因が考えられ、家族や学校だけでは問題解決を図ることが困難なことから、本市は2020年度に福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを2名配置した。しかし、学校現場からはもっと増やしてほしいとの声が多くある。そこで、本市の今後の取組について問う | (1) 過去2年間の相談状況はどのようなものであるか (2) 学校現場の声を受け止め、スクールソーシャルワーカーを2名から各中学校区に1名配置できる6名に増員するべきと考えるがどうか | |

| | | | |
|-------------------------------|--|--|--|
| <p>3 移動手段の確保について</p> | <p>1 高齢者人口の増加とともに、自動車の運転免許証を返納した後の移動手段に困っている市民が増え、らんらんバスの利便性の向上への要望、コミュニティの地域バスやデマンドタクシー等の新たな公共交通を求める声が高まっている。そこで、高齢者人口がピークを迎える2040年を見据えた本市の地域交通の在り方について問う</p> | <p>(1) 2020年10月より導入したらんらんバスの朝夕ダイヤは、市民から不便になったと不評である。速やかに見直しを検討すべきと考えるがどうか (2) 2020年10月のダイヤ改正により、運行間隔が2時間になった。ルート変更やバスの台数を増やす等の抜本的な見直しが必要な時が来たと考えるがどうか (3) らんらんバスを補完する新たな公共交通として、AIを活用したデマンドタクシーの導入を本格的に検討すべきと考えるがどうか</p> | |
| <p>4 中学校の特別教室へのエアコン設置について</p> | <p>1 2019年度より、全小中学校の普通教室にエアコンが設置されたが、音楽教室等の特別教室にはいまだに設置されていない。音楽の授業は、窓を閉め切らなければならないため、せめて音楽教室だけでもエアコンを設置してほしいと学校現場から強い要望が寄せられている。そこで、本市の今後の取組について問う</p> | <p>(1) 市内小中学校の特別教室へのエアコン設置についての考え方はどのようなものであるか (2) 市内中学校の音楽教室だけでもエアコンを設置すべきと考えるがどうか</p> | |

| | | | |
|------------------------|---|---|--|
| <p>5 農作物のカラス対策について</p> | <p>1 カラスによる農作物への被害は、鳥獣全体では、シカ、イノシシに次いで第3位である。このような被害に対して様々な対策製品があるが、カラスは賢く、慣れてしまうため、いずれもやがて効果がなくなる。そこで、カラスは両翼を広げたときの長さが1.4メートルほどあることや翼に物が触れることを極端に嫌がる習性があることを利用し、畑の上部に1メートル間隔でテグスやワイヤーを張ることで、物理的にカラスの侵入を阻止することができる。本市において防鳥網だけでなくテグスやワイヤー張りへの補助を検討すべきと考え、本市の今後の取組について問う</p> | <p>(1) 今後の農作物のカラス被害防止策をどのように考えているのか (2) カラスの習性を利用した物理的な侵入防止策として、防鳥網だけでなくテグスやワイヤー張りの場合にも補助をすべきと考えるがどうか</p> | |
| | <p>2 根本的なカラス対策としては、カラスの個体数そのものを減らす必要がある。本市では、捕獲檻を2か所に設置しているが、賢いカラスは、慣れてきてやがて檻にかからなくなる。最も効果的な方法は、自然界のエサが少なくなる冬に、ヒトが出すエサ資源を徹底的に管理する市民参加型のキャンペーンの実施である。そこで、本市のカラスの個体数を根本的に減らす取組について問う</p> | <p>(1) 市内2か所に設置している捕獲檻によるカラスの捕獲数の推移はどのようなものであるか (2) 根本的なカラス対策として、冬に市民参加型のカラス対策キャンペーンを継続的に実施してはどうか</p> | |

| 質 問 者 | 6 近 藤 美保子 議 員 (日本共産党議員団) | | |
|--------------|--|---|-----|
| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 質 問 項 目 | 備 考 |
| 1 農家への支援について | 1 市内では樹木が伐採されたことにより、ねぐらを失ったカラスがしあわせ村や名和町等に移動し、フンによる道路汚染や農作物を荒らす被害が見られるようになった。農作物への被害に関しては、「収入額が昨年の半分になった」という声もある。そこで、本市におけるカラス被害の状況及び対策について問う | (1) カラスの習性や生態をどのように認識しているか。また、被害に関するアンケートや聞き取り調査の実施状況及びその結果はどのようなか (2) 有害鳥類防除補助事業において、補助の対象が防鳥網の設置となっているが、対象の拡充を図ってはどうか (3) カラスが近寄らない鳴き声を流す装置を用いた実証実験やカラスの生態に基づいた効果的な対処法について専門家からアドバイスを受けた近隣自治体のように、本市も効果的な取組について、調査・研究すべきではないか | |
| | 2 気象庁が公表した「ヒートアイランド監視報告」によると、ヒートアイランド対策は、気候変動の悪影響を低減させるための適応策として重要であり、草地、森林、水田、水面等の植生域は、主に日中の気温が抑えられると述べている。そこで、農業用地は保水力があり、気温の上昇が抑えられる用地として重要と考え、本市の状況及び見解を問う | (1) 本市における就農人口及び就農者の平均年齢をどのように把握しているか (2) 本市において、平成24年度と比較しての農地総面積はどのようなか。また、東海太田川駅西土地区画整理事業、民間開発の名和共和地区及び社山北地区において、開発した面積はそれぞれどのようなか (3) 農業センターに農作物の栽培に関する専門家を配置し、農業協同組合と合同の調査研究や農家へのアドバイス等の支援を行ってはどうか | |

| | | | |
|--------------------|--|---|--|
| 2 子ども支援について | 1 令和元年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が一部改正され、これに基づき、「子どもの貧困対策に関する大綱」が見直された。県も「あいち はぐみんプラン2020-2024」を策定し、子どもの貧困対策計画を盛り込んだ。子どもの貧困対策は、子育て支援を推進する上で重要と考える。そこで、本市の状況と見解を問う | <p>(1) コロナ禍で子どものおかれている生活環境が変化してきていると考えることから、子どもの生活に関する実態調査等を行ってはどうか</p> <p>(2) 「子ども食堂」のように子どもの居場所づくりを行う団体に対し、市独自の支援を行ってはどうか。また、無料学習支援として開催している学習広場「みらいーな」のように、市として子ども食堂を実施してはどうか</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症のまん延が広がる中、平成30年度以降の3年間における、ひとり親世帯の世帯数、児童扶養手当の受給者数及び就学援助制度を利用している児童生徒数はどのように推移しているか</p> <p>(4) 小中学校ではタブレットを活用した授業が行われ、令和3年度は通信環境のない家庭にモバイルルーターを貸出し、各家庭で新たな負担はないが、令和4年度以降についてはどのように設定するのか。保護者の負担軽減のため、無償とすべきと考えるがどうか</p> <p>(5) 就学援助制度について、対象基準とわずかな差で対象とならなかった世帯が生活苦になりやすいと考えることから、就学援助認定基準を拡充すべきではないか</p> | |
| 3 東海市公共建築物再編計画について | 1 本市の公共施設は、今後、耐用年数を迎えることから、長期的な視点による長寿命化・複合化・広域化等の方向性の下、保有施設の縮減を目指している。そこで、児童館・敬老の家・健康交流の家等の施設の複合化の実施状況や今後に向けての課題等について問う | <p>(1) 複合施設となっている養父児童館・健康交流の家について、利用及び運営状況はどのようなか。また、その結果からの課題はどのようなか</p> <p>(2) 緑陽コミュニティセンター整備事業により、ハード面での整備は進んでいる中で、緑陽コミュニティの課題解決や多世代交流を図るための方策はどのようなか</p> <p>(3) 緑陽コミュニティセンター整備事業で児童館、敬老の家及び市民館の一部が複合施設になるが、児童館としての機能を残し、市が責任をもって児童厚生員を配置すべきではないか</p> <p>(4) モデル事業として整備を進めている緑陽コミュニティセンターについて、市が管理運営をすべきではないか</p> | |

| 質問者 | 7 村瀬進治議員（子どもたちに青い空） | | |
|-----------------------|--|--|----|
| 質問事項 | 質問要旨 | 質問項目 | 備考 |
| 1 信号機がない横断歩道の安全対策について | 1 歩行者にとって信号機がない横断歩道は、渡りにくく危険を感じやすい場所である。本市においても、過去に富木島町貴船地区及び中ノ池地区で重大な事故が発生していることから、本市の事故防止のための取組等について問う | (1) 信号機がない横断歩道は、市内にどれくらいあるか。また、事故防止のためにどのような安全対策を実施しているのか (2) これまでに事故があった信号機がない横断歩道について、大府市が導入している歩行者横断点滅機「びかっとうたるくん」を設置するべきと考えるがいか | |
| 2 投票環境の向上について | 1 令和4年3月27日に執行される東海市議会議員一般選挙について、投票環境向上のため、中ノ池地区への投票所、南北及び東方面への期日前投票所の設置を再検討する考えについて問う | (1) 告示約40日前の2月10日に選挙管理委員会に問い合わせた際、中ノ池地区への投票所は設置しないとの回答だったが、有権者の移動負担の軽減や投票率向上のため、設置は必要不可欠と考えるがいか。しないのであれば理由はいかに (2) 中ノ池地区の有権者の投票環境を向上させるための取組はいかに (3) 期日前制度を利用する有権者が増加しているにもかかわらず、南北及び東方面への期日前投票所を設置しない理由はいかに | |
| 3 死亡退職者への対応について | 1 本市職員が死亡退職した事例について、本市の対応等について問う | (1) 過去5年間に本市職員が死亡退職した事例は何件あるか (2) 死亡退職事例が発生した場合の本市の対応はいかに (3) 遺族からの要望についての対応状況はいかに | |
| 4 公害問題への対策等について | 1 50年以上に渡り、降下ばいじんによる深刻な被害を受けてきた本市南部地域の住民への対策は、不十分であると考えことから、本市のこれまでの対策及び今後について問う | (1) 本市は、聚楽園公園付近を大気汚染対策緑地として多額の税金を投入して整備したが、最も酷い南部地域を対象としなかった理由はいかに。また、今後の実施予定はいかに | |

| | | | |
|------------------------|---|---|--|
| | 2 公害問題への対策については、実際に被害を受けている住民の参加制度を確立し、意見を反映すべきであると考えことから、本市の対応及び今後の取組について問う | (1) 市長はじめ職員が率先して現地・現場に出向き被害の聞き取りを行った実績はいかに (2) 自治会、町内会及びコミュニティに対して、公害問題の実態調査やアンケートを実施した実績はいかに (3) 高横須賀町御亭町内会が、50年程前に約50人で製鉄所に出向き見学、協議をしているとのことであるが、その成果を市が生かしていない理由はいかに (4) 住民を主体とした公害問題対策プロジェクトチームを立ち上げ、調査等をする必要があると考えるがいかに | |
| 5 運転免許自主返納後の支援について | 1 運転免許の自主返納後の大きな課題は返納後の移動手段の確保である。自動車を手放したくても、公共交通手段が不便であることを理由に手放せない高齢者が多くいることから、自主返納後の支援を更に拡充すべきと考え、本市の今後の取組等について問う | (1) 運転免許証自主返納支援事業について、どのように評価しているのか (2) 本市では、75歳以上で自主返納した方に対し、2千円分のタクシー料金助成券を1度だけ配布しているが、毎年継続的に複数枚を配布する必要があると考えるがいかに | |
| 6 後援会リーフレットへの市長の対応について | 1 市議会議員の政治活動の一環として作成している後援会加入のリーフレットについて、市長の推薦文等が掲載されていることがあるが、その適法性について疑義があることから問う | (1) 市議会議員の後援会加入のリーフレットに、市長が顔写真付きで推薦文を掲載している場合があるが、その適法性はいかに | |

| 質 問 者 | 8 間 瀬 友 浩 議 員 (東海市民の声) | | |
|----------------------|---|--|-----|
| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 質 問 項 目 | 備 考 |
| 1 健康経営の推進について | 1 新型コロナウイルス感染症拡大をきっかけに働き方や生活様式が大きく変化した。在宅勤務の推進等による椅子に座る時間の増加や通勤等の移動機会の減少によって身体的不調が増加していることに加えて、周囲との意思疎通不足等から生じる精神的不調も顕在化している。そこで従業員の心身不調の軽減に向けて健康経営の重要性が益々高まっており、更に推進すべきだと考えるが、市内事業者の健康経営の取組状況及び今後について、本市の考えを問う | (1) 「東海市いきいき元気キャンペーン」に参加した事業者数について、これまでの推移は、どのような状況なのか。また、参加事業者数の増加に向けた取組は、どのような状況なのか (2) 令和2年7月に大塚製薬(株)名古屋支店と「東海市民の健康づくりの推進に向けた事業連携に関する協定」を締結したが、この協定に基づく取組は、どのような状況なのか (3) 市内事業者の健康経営の更なる推進に向けて、東海商工会議所及び市内2大学と連携する考えはあるか (4) 長野県松本市のように「東海市いきいき元気キャンペーン」で健康づくり推進優良事業所として入賞した事業者を本市の工事発注における総合評価落札方式で加点する等、優遇する考えはあるか | |
| 2 児童生徒を優先する環境づくりについて | 1 文部科学省は、令和元年10月に「不登校児童生徒への支援の在り方について」を通知しており、文部科学省が開発したCBTシステム(コンピュータを使った試験方式)であるメクビット等のICTや自宅学習を支援する民間事業者を活用した不登校児童生徒への多様な学びを更に提供していくべきだと考えるが、多様な学びの提供に向けた取組状況及び今後について、本市の考えを問う | (1) 通知を受けて、不登校児童生徒の自宅学習におけるICTの活用について、どのような状況なのか (2) 本市の不登校対策において、ICT機器及び民間事業者の活用を推進する考えはあるか | |

| | | | |
|--|--|---|--|
| | <p>2 小学校の課外活動や中学校の部活動の在り方を見直している中、活動時間の短縮等を実施する一方で、児童生徒の体力減退に加えて、指導者及び異年齢との人間関係を学ぶ機会の減少を心配する保護者の声もある。名古屋市のように民間事業者を活用した課外活動及び部活動を実施する環境に整備すべきだと考えるが、課外活動や部活動の取組状況及び今後について、本市の考えを問う</p> | <p>(1) 小学校の課外活動は、令和3年度をもって廃止されると聞いているが、中学校の部活動については、どのように考えているか (2) 小学校の課外活動が廃止されることで、児童の体力減退に加えて、人間関係を学ぶ機会の減少を心配する保護者の声があるが、どのような対策を考えているのか (3) 名古屋市の民間事業者を活用した課外活動のようにスポーツクラブ東海等の団体を中心に、市内12小学校で様々なスポーツ活動等を実施できる体制に整備する考えはあるか</p> | |
|--|--|---|--|